

平成28年度 第1回我孫子市放課後対策事業運営委員会

●日時 平成28年5月25日(水) 午前9時30分から午前11時00分

●場所 我孫子市役所 議会棟 会議室A・B

●出席者

委員 長谷川敬一(委員長)、北原靖子、佐藤哲康、丸智彦、菌部文、海老原広哲、吉成正明、鈴木雅人、前田由美、坂手千代子、浦島誠、並内千緒、小林まり子、鈴木幸子、小林加代、

子ども部長 山崎久江

事務局 コーディネーター：大塚美香子、野原明美、佐藤里美、池上真千子、河村千春、平八重敬子、清水かほる、大野敦子、飯塚章江

子ども支援課：鈴木正久、小野佳子、藤田航介

- * 議事録作成のための録音許可について
- * 傍聴要領の承認について
- * 委嘱状・辞令交付(辞令は省略させていただきます)
- * 資料確認

【子ども部長あいさつ】

1. 委員長あいさつ
2. 委員自己紹介及び事務局紹介
3. 本委員会の任務及び平成28年度年間スケジュールについて
4. これまでの経過説明
 - (1) 我孫子市における放課後対策事業における検討経過について
 - (2) 平成28年度学童保育室入室状況について
 - (3) あびっ子クラブにおける1年間の活動状況について
事故報告について
 - (4) あびっ子クラブ登録状況について
 - (5) 平成28年度新規あびっ子クラブ設置に向けた進捗状況
5. 各あびっ子クラブの運営報告及び課題検討について
 - (1) あびっ子クラブの近況について
 - ・湖北小あびっ子クラブの近況
 - ・四小あびっ子クラブの近況
 - ・湖北台西小あびっ子クラブの近況
6. その他
次回以降の運営委員会開催の日程について
第2回 10月初旬予定

公開／非公開：公開

傍聴人：無

●会議概要（要約）

開会

- ・議事録作成のため、録音させていただきたいがよろしいでしょうか。[異論なし]
- ・「会議の公開に関する情報公開条例」、「審議会等の会議の公開に関する規則」に基づき、原則公開とした。また、会議の公開にあたり、傍聴に関するルールを定めた「傍聴要領」を作成しましたので、ご承認いただきたいがよろしいでしょうか。[異論なし]
- ・異論がありませんので、「傍聴要領」に沿って、傍聴人の手続きを行わせていただきます。本日は、傍聴人の届け出はありませんでした。
- ・委嘱状については、委員の机の上に置かせていただいておりますので、ご確認ください。
- ・また、市の職員については、辞令を省略いたしますので、ご了承ください。

【委員長】

それでは、定刻も過ぎましたので、これから第1回放課後対策事業運営委員会を始めさせていただきます。最初に、子ども部長からご挨拶をさせていただきます。

【子ども部長】 皆さん、おはようございます。この4月から子ども部長を努めております。どうぞよろしくお願いたします。

皆様には、日ごろから子ども・子育て支援の各部署でご尽力いただき、大変感謝しております。そして、今日はお忙しい中、平成28年度第1回になります本会議にご参加いただき、本当にありがとうございます。

昨年度から、子ども・子育て支援新制度がスタートしました。全てが決まった中でのスタートではなく、多少ばたつきながらの1年間ではありましたが、粛々と新制度の流れができていくということを感じた昨年度でした。そういう中、学童保育事業も、国の地域子ども・子育て支援事業にきちんと位置づけをされ、そのため、学童保育をする施設、運営、入室等、もろもろの基準が明確になる中で、子どもたちの保育環境もさらによくなったのではないかと感じています。制度が変わったことにより、本会議も放課後子ども総合プランに位置づけられた審議会として、さらに位置づけが明確になり、皆様方の活発な意見がよりよい運営につながっているということをお聞きしていますので、今後とも期待させていただいているところです。

昨年度、あびっ子クラブは二小、四小、高野山小の3校で開設をいたしました。今年度も、6月1日に湖北小で開設する準備を今、進めているところです。それから、これから入札等の関係もありますので不確定なところではありますが、3月1日を目指して新木小であびっ子クラブを開設する予定であります。そうしますと、我孫子市内13校の小学校のうちの12校で今年度中に開設がされる予定です。

我孫子市は、学童保育室とあびっ子クラブを一体的に運営できる、本当に先進的な取り組みをしている市ということで自負しているところですが、本会議で皆様方のご意見をいただけることは大変貴重な場だと思っております。皆様、各方面でお忙しいとは思いますが、本会議への関心をますます深めていただきまして、活発なご意見をいただける機会がこれからも進んでいくことを切に願って、挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いたします。

1. 委員長あいさつ

【委員長】 続いて、委員長挨拶に移ります。子ども支援課長です。設置要綱に基づきまして、この会の委員長を務めさせていただいております。

皆さんご存じと思いますが、学童保育室は市内に13校ある小学校全部に設置し、17の学童保育室がございます。そのうち、第三小学校のみが学校敷地外の学童保育室で、ご不便をかけていると思いますが、なるべく早く学校の敷地内にできるようにということが1つの課題になっております。

それから、放課後の子どもの居場所であるあびっ子クラブは、現在10校の小学校に設置済みで、今年度2校を設置する予定でおります。最後の1校は布佐小学校ですが、計画では平成30年度に開設予定で、現在調整をしている状況です。学童保育室、あるいはあびっ子クラブ、放課後の子どもたちの過ごし方等について、皆様方からご意見をいただきながら運営をしていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくをお願いします。

2. 委員自己紹介および事務局紹介

【委員長】 それでは、自己紹介をお願いします。

【委員】 おはようございます。地域の川村学園女子大学という大学におります。大分前から委員をさせていただいています。我孫子の場合は安全・安心を根とする学童保育に加えて、児童館がないこともあって、体験活動などができる場所として敷地内にあびっ子クラブがあって、どちらもできるというところが大変強みと思っています。学会などでも、あびっ子クラブについてのお話をすると、先生方から、「いい形でリンクできているのはうらやましいです」というお言葉をいただいています。これからも、特に今年はサポーターの方が見守りなどの活動もよりよくしていけるよう、お手伝いしたいと思っています。あと、点検・評価も大事なことだと思います。

【委員】 同じく川村学園女子大学から参りました。私、今年3年目の委員をさせていただきまして、一昨年から川村学園女子大学の先生と一緒に、児童の過ごしている放課後の居心地のよさやサポーターの皆さんのやりがい等を、調査を通じながら、今あった点検・評価、また、その上で新しくどんなことをしたらいいか、どういうニーズがあるのかというのをつかんでいけたらと思っています。また、今年も2校、新しくあびっ子クラブの開設準備が進んでいるということで、またそういったところで何かいいスタートが切れるように協力できたらと思っています。よろしくをお願いします。

【委員】 湖北台東小学校の校長です。どうぞよろしくをお願いします。昨年度までは違う立場で関わらせていただきました。今年度からは学校現場の実情を踏まえた中で、意見を言えたらと思っています。どうぞよろしくをお願いします。

【委員】 湖北台東小学校PTAから参りました。よろしくお願ひいたします。この委員会に参加するのは初めてですが、皆さんとともに子どもたちにとってよりよい放課後対策事業を進められるように考えていきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

【委員】 布佐小PTAの会長です。1年間ではございますが、どうぞよろしくをお願いします。

【委員】 我孫子市青少年相談員連絡協議会から出させてもらっております。この会議には何回か参加させていただいて、青少年相談員という立場でご意見を述べさせていただければと思います。1年間よろしくをお願いします。

【委員】 湖北台で民生委員をやっております。私は、民生委員という立場からしか見ていませんが、いろいろと子どもたちと顔見知りになって、突然何かあったときにあびっ子クラブの先生のところに電話して、情報をいただいとうまく運んだということも何回かあり、とても感謝しております。今年も1年、

よろしくお願いいたします。

【委員】 我孫子市教育委員会指導課課長補佐です。よろしくお願いいたします。本年度、我孫子市教育委員会に來たばかりで、こちらの行政としての仕組み自体がまだよく分からないですが、以前、学校現場で、あびっ子クラブ等で子どもたちがすごく楽しく活動している生の現場は見ておりますので、違う側面からうまくやっていけたらと思っております。よろしくお願いいたします。

【委員】 この4月から教育委員会の生涯学習課の課長となりました。よろしくお願いいたします。生涯学習課としましては、市内5校の小学校の余裕教室を活用して地域交流教室というのを開設させていただいています。基本的には市民の学習の場として開放していますが、その中で、放課後対策事業としても活用されているということを聞いています。そういった面で支援させていただければと思っています。よろしくお願いいたします。

【委員】 子ども・子育て会議から來ました。妊産婦から小学校、中学校、お子さんに関する内容について、代表者がいろいろ集まったの会議ですが、特に小学校の学童期の問題をここで、いつも話し合いの中で感じていることは、年々充実してきていると感じています。この会議の持つ意味合いは大変重要で、それが行政の皆さんの努力で、「特に我孫子市は」という名前と言われるように、非常に充実したものだとされています。本年もよろしくお願いいたします。

【委員】 湖北小あびっ子クラブです。あびっ子クラブの運営は初めてです。11校目のオープンになりますので、子ども支援課の職員の方やコーディネーターの方々に一からいろいろ教えていただきながら、6月1日のオープンに向けて準備をしているところです。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

【委員】 四小あびっ子クラブです。よろしくお願いいたします。

【委員】 根戸小学校のあびっ子クラブのサポーター代表です。以前、子どもが根戸小学校に通っていて、サポーターであり保護者の立場だったのですが、今、子どもが東小学校に転校しまして、自分が今の立場なのかちょっと分からなくなってしまっていますが、1年間よろしくお願いいたします。

【委員】 おはようございます。湖北小あびっ子クラブサポーターの代表です。こちらの会議には何年間か出させていただいていますが、5月の東小、西小のあびっ子クラブで作ったこいのぼりを中央公園に飾る、その辺に生きがいを感じております。子どもたちが西小も東小もとてもうれしそうにこいのぼりを見に来る姿を見て、ちょっとお手伝いできているかなと感じていますが、今年はまだじめにほかを見させていただきます。よろしくお願いいたします。

【委員】 我孫子市学童保育連絡協議会の執行部から参りました。市連協は役員が毎年1年交代になってしまい、また一から勉強させていただきながら、あびっ子クラブとともに放課後事業対策として学童保育室での充実もお話いただけたらありがたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】 ありがとうございます。本日、都合がつかず欠席されている委員がおります。副委員長になります学校教育課長と湖北小の校長先生が、本日所用で欠席となっております。

それでは、事務局の紹介に移ります。

【事務局】 4月から子ども支援課放課後対策担当になりました。どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】 私も4月から異動して参りました。よろしくお願いいたします。

【事務局】 子ども支援課2年目になりました。よろしくお願いいたします。

【事務局】 並木小あびっ子クラブのコーディネーターです。よろしくお願いいたします。

【事務局】 湖北台東小あびっ子クラブコーディネーターです。よろしくお願いいたします。

【事務局】 二小あびっ子クラブコーディネーターです。よろしくお願いいたします。

【事務局】 西小あびっ子クラブコーディネーターです。今年異動してまいりました。よろしくお願いいたします。

【事務局】 高野山あびっ子クラブコーディネーターです。よろしくお願いいたします。

【事務局】 布佐南小あびっ子クラブコーディネーターです。3年目になります。よろしくお願いいたします。

【事務局】 根戸小あびっ子クラブコーディネーターです。3年目になります。よろしくお願いいたします。

【事務局】 三小あびっ子クラブコーディネーターです。よろしくお願いいたします。

【事務局】 一小あびっ子クラブコーディネーターです。今年初めて学童からあびっ子クラブのコーディネーターになりました。よろしくお願いいたします。

【委員長】 ありがとうございます。本年度はこのメンバーでやっていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

3. 本委員会の任務及び平成28年度年間スケジュールについて

それでは、本委員会の任務及び平成28年度年間スケジュールについて説明します。放課後対策事業運営委員会の任務ということで、運営委員会の設置要綱がございますが、その設置要綱の第2条に定めてあります。(1) 総合的な放課後対策事業の運営に関すること、(2) 総合的な放課後対策事業の検証及び評価に関すること、(3) 総合的な放課後対策事業の問題点等の分析及び改善方策の検討等に関すること、(4) 教育委員会と市長部局との具体的な連携方策に関すること、(5) 小学校の余裕教室等の活用方策と公表に関すること、(6) 活動プログラムの企画及び充実に関すること、(7) ボランティア等の地域の協力者の人材確保方策に関すること、(8) 安全管理方策に関すること、(9) 広報活動方策に関することということで、9つの任務が定められております。これらに関連して、この委員会の中で皆様方から意見を聞きながら運営していきたいと考えております。

続きまして、平成28年度の年間スケジュールですが、今年度については年3回を予定しております。第1回が本日5月25日、第2回が10月初旬の予定、第3回が2月下旬の予定となっております。開催時間は9時30分から11時30分、場所については決まりましたら皆様方にお知らせをさせていただきます。

昨年度までは年4回開催しておりましたが、施設整備も大分落ちついてきたということと、運営についてもこれまで幾つか課題等、皆様方からご意見いただきながら方策を練ってきたことを踏まえて、今年度については、定例会は3回という予定です。もし、何か臨時で話し合う事項がありましたら、臨時会等で招集させていただく場合もございますので、その有無についてはご了承ください。どうぞよろしくお願いいたします。

4. これまでの経過説明

【委員長】 これまでの経過説明を、事務局から説明させていただきます。

(1) 我孫子市における放課後対策事業における検討経過について

【事務局】 まず、我孫子市放課後子ども総合プラン行動計画の修正点をご説明いたします。現行動計画は、平成31年度までにあびっ子クラブをどのように全小学校に設置していくのか、今後、あびっ子ク

ラブを開設する際、学童保育室との一体的な運営をどのように実施していくのか等が盛り込まれています。また、教育委員会と子ども部の連携方法などについても盛り込まれております。

平成27年度より、学童保育室に関する補助金を受け取るために、国が定める内容が市町村子ども・子育て支援事業計画に掲載されていることが要件となりました。放課後子ども総合プラン行動計画策定時には、既に全小学校に学童保育室を整備していること、また、人口が減少することを踏まえ、新たに学童保育室の施設を整備する計画ではありませんでした。しかし、共働き世帯の増加により、予想を上回る学童保育利用者が見込まれることから、一部の地域で学童保育室の拡張及び分室が必要となりました。

そこで、今年度以降、整備に関する補助金を申請するため、放課後子ども総合プラン行動計画書の一部を変更し、平成28年1月23日に実施された平成27年度第3回子ども・子育て会議にて承認されました。内容としては、「学童保育室においては、定員超過が見込まれる場合には、拡張及び分室などを随時対応します」という、この2行をつけ加えさせていただきました。

具体的な内容としては、本年度、一小学童保育室の仕切り壁を除去して、拡張・分室して利用します。工事の実施は6月から始まり、9月には利用可能となる予定です。計画には具体的な学校名などは記載せず、我孫子市は待機児童ゼロを目指しておりますので、今後も柔軟な対応をしていく予定です。

以上です。

【委員長】 引き続き(2)の平成28年度学童保育室の入室状況について、事務局からお願いします。

(2) 平成28年度学童保育室入室状況について

【事務局】 平成28年度の学童保育室入室状況についてご説明いたします。

こちらは、毎年5月1日時点の学童保育登録児童数をまとめたものになっております。基準決定前、基準決定後と記載しているのは、昨年度から新制度がスタートしており、学童保育室の定員が変更されたため、このような表記になっております。子ども1人当たりの最低占有面積として1.65㎡を確保することとなっているため、基準決定後の定員が基準を確保した後の定員数となっております。

平成26年度と比較しますと、定員が減っているところが多いのですが、幾つか定員数と同じで推移しているところもあります。市全体としては、定員1,250名から、今現在28年度においては1,055名定員となっており、これまでより195名の定員減となっております。表全体の合計を見ますと、平成19年で900人という児童数で、この時期がピークとなっており、その後、少しずつ児童数が減ってきています。平成28年度では、5月1日時点で815名となっており、若干、昨年度より増えた状況です。

以上、平成28年度学童保育室の入室状況についての説明になります。

【委員長】 ありがとうございます。この定員についてですが、これは昨年度から始まった子ども・子育て支援法に基づいて、国で学童保育室の子ども1人当たりの面積が明確にされました。今まで我孫子市がとっていた、延べ床面積を1.65㎡で割って子どもの定員を定めていた方法と少し異なり、専用区画を1.65㎡で割る方法に変わったというところがあります。定員の見直しを行ったため、定員数が減っている形になっております。

それでは、(3)のあびっ子クラブにおける1年間の活動状況についてお願いします。

(3) あびっ子クラブにおける1年間の活動状況について 事故報告について

【事務局】 あびっ子クラブにおける1年間の活動状況についてご説明します。あびっ子クラブは今現在10校設置しておりますが、布佐小の子どもたちが、昨年度から布佐南小あびっ子クラブを夏休みや冬休みに利用できるために、布佐小については、長期休みの利用時のみの数字になっております。平成27年度のあびっ子クラブ1日当たりの平均利用人数について、一小あびっ子クラブを例にご説明させていただきます。こちらの数字については例年どおりの数字にはなっていますが、備考欄に特に利用が多かった日などを記載させていただいております。主に放課後の時間帯に懇談会や保護者会、保護者の方が参加される行事がある日や短縮日課の日などは、特にあびっ子クラブの利用が多いというようになります。また、一小の例を見ますと、全体の参加者のうち、1、2年生の参加の割合が62.89%、3、4年生の割合が30.74%、5、6年生の割合が6.37%と、低学年の子どもたちの参加率が非常に高くなっております。

続いて、月別のチャレンジタイムの実施状況についてです。チャレンジタイムというのは、地域の方々がサポーターとなって実施してくださっている子ども向けの体験教室のようなものですが、一小あびっ子クラブにおける月平均実施回数は18.4回となっております。これは、各小学校によってサポーターさんの人数や、学校の規模も違いますので、回数は小学校ごとに異なっております。

具体的には、おはなし会や囲碁、お琴、けん玉、マジックなどと、さまざまなチャレンジタイムを実施していただいております。このチャレンジタイムを目当てにあびっ子クラブに来るという子どもたちもたくさんいて、とても楽しみにされているようです。

続きまして、事故報告についてご説明いたします。

平成27年度の事故報告として、保険請求した事故の件数を示しております。学童保育室のほうがあびっ子クラブに比べて事故の件数が多くなっておりますが、理由として1日の活動時間が学童保育室のほうが長いということ、利用している人数が学童保育室のほうが多いことが考えられます。

あびっ子クラブにおける事故として、実際にあびっ子クラブ内で起きた事故の内容を見てみますと、打撲、切り傷など、外遊びや体育館で子どもたちが夢中になって遊んでいたところけがしてしまったというものが多くありました。

昨年度においては、骨折や数針縫うけがが数件発生しています。

事故報告については、以上です。

【委員長】 ありがとうございます。

それでは、続きまして、(4)のあびっ子クラブ登録状況についてお願いします。

(4) あびっ子クラブ登録状況について

【事務局】 あびっ子クラブの登録状況についてご説明をいたします。

布佐小あびっ子につきましては、昨年4月から春、夏、冬の長期休み中に布佐小の子どもたちが布佐南小のあびっ子クラブを利用できるようになっており、長期休みの利用のみです。平成27年度の数字のみですが、登録率は低くなっており、平成28年度については、これから7月に申請していただく予定のため、まだ数値は出ておりません。平成27年度は14.5%でした。

6月1日にオープンします湖北小あびっ子クラブの今現在の登録者数は、68.3%となっておりますが、オープンした後も続々追加で登録があると思いますので、これから登録率はさらにアップしていくのではないかと考えられます。

あびっ子クラブの登録状況については、以上です。

【委員長】 ありがとうございます。

続きまして、(5)の新規あびっ子クラブの設置の進捗状況について、ご説明をお願いいたします。

(5) 平成28年度新規あびっ子クラブ設置に向けた進捗状況

【事務局】 あびっ子クラブ設置に向けた進捗状況ですが、平成27年度までに10校の整備が完了しております。平成28年度は、6月1日に湖北小あびっ子クラブの開設に向け、現在、備品類の搬入、消耗品等の購入を行っている状況です。

平成29年3月には新木小学校のあびっ子クラブを開設する予定です。

平成27年度には設計業務が完了し、図面が仕上がりました。平成28年4月28日に公告しました。夏休み期間中にメイン工事を実施し、12月に完成する予定です。

以上、進捗状況です。

【委員長】 ありがとうございます。

これまでの経過ということでご説明いただきましたが、本日初めての方もいらっしゃいますので、学童保育とあびっ子クラブについて簡単に説明させていただきます。

学童保育は、ご両親が就労等で放課後に子どもの面倒を見られない場合に、保護者に代わって子どもを預かる施設であり、現在、市内に17保育室がございます。時間は、放課後から夜7時まで実施しております。ここは、保育をする場所になりますので、保育園と同じように、出欠席の確認やお迎え時間の確認等、保護者とスタッフの綿密なやりとりを行っています。

あびっ子クラブは、文部科学省の放課後子ども教室という事業の一環で、放課後の子どもの居場所になります。

時間は、放課後から午後5時まで、冬場は4時半までですが、登録していれば子どもたちが自由に遊んだり、あるいはサポーターさんがいろいろなことを教えてくれたりしております。したがって、あくまでも子どもたちが自主的に参加する場所ということで、預かる施設ではありません。

両方とも夏休み等の長期期間中でも開設していますので、あびっ子クラブ、いわゆる放課後子ども教室として年間を通して開設しているという例は、県内でも非常に少ないと思っております。

以上、学童保育とあびっ子クラブの簡単な説明をさせていただきました。

これまでの経過の説明について、何かご質問・ご意見等ございますでしょうか。いかがですか。

実際に根戸小でサポーターをやられて、いかがですか。

【委員】 私はあびっ子クラブで、消しゴムハンコや、手芸などを主に行っていました。消しゴムハンコは、彫刻刀を使うので、小学校3年生以上を対象に行っていました。

最初は、簡単なものから、慣れてくると自分の好きな絵を下絵として描いて、それを転写というような形で、消しゴムを一生懸命彫ります。そのときに子どもが学校であったことや、家での話をしてくれます。すぐ子どもたちは話を聞いてもらいたいという思いがあって、サポーターとして、子どもたちの話を聞いてあげる存在でも役に立っているのかなと思います。

【委員長】 ありがとうございます。今、お話がありました、チャレンジタイムは、各学校で内容は違ってきます。それは、それぞれの学校で、地域の人たちが子どもたちに何か教えたい、関わりたいということで、サポーターとしてあびっ子クラブに登録してくれています。そのサポーターさんとチャレンジタイムの日程を調整して、事前に子どもたちに掲示やおたより等でお知らせをします。子どもたちはそれを見て参加します。先ほど事務局からも説明があったように、チャレンジタイムが設定されているときは、やはり子どもたちの参加も増えてきます。そこで、地域の人と子どもたちの触れ合いがあり、いろいろな体験ができる場所になっています。

【委員】 今のお話で、このチャレンジタイムのサポーターというのはすごく大事ですが、それだけではなく、普通の活動を見守る見守りサポーターさんもととても必要だと思っています。資料にあったように、例えば授業参観や懇談会に128人、148人とたくさんのお子さんがいらして、こういうのは、いわば新しい基準で言うところの育児支援の一環ではあると思います。

あびっ子クラブは、もちろん育児支援の場ではないですが、そういう観点としても貢献はできていると思います。そのためには、単なる押しつけではなく、子どもが活動できるためには、そのような場面でも地域の大人たちが「お母さんが懇談会で忙しいから一緒に遊ぼうか」というような形で関わってくれるような、そういう地域間交流や世代間交流の場を作っていくことがすごく大事だと思います。

ですが、例えば今、地域交流室のお話が出ましたが、地域交流室のこれまでやってきた活動の方たちとあびっ子クラブは、細かくリンクしてきているかということ、もちろん必ずしもそうではないと思います。歴史的経緯が違いますので、例えば両者がつながっていくような、廊下のどこかに掲示板が1個でもあるなど、細かく丁寧だけど小さな仕掛けのようなことを少し私たちが考え提案していくことで、地域間交流がただ上辺だけでなく広がっていくと感じます。地域交流室で教室をやっている方たちが、こういう忙しいときはあらかじめ分かりますから、こういうときには、ちょっと手伝ってあげようかなとお声かけをしていく中で、つながっていく仕組み作りもまだまだ課題として残っているのではないかと思います。

【委員長】 ありがとうございます。

ふだんの見守りのサポーターさんというのは、結構いらっしゃるのでしょうか。コーディネーターさん、いかがですか。

【事務局】 布佐南小あびっ子クラブです。

布佐南小は児童数も少なく、あびっ子クラブに来る子どもたちも少ないのですが、シニアの人たちのサポーター登録が大変多く、毎週日は決まっていますが、10人程度の方々は、チャレンジタイムだけではなく、子どもたちの見守りに来ていただいています。支援を要するような子や1人でどうしても遊べないような子の相手をしてくれて、トランプやウノをやったり、オセロ等の相手をしてくださったり、外に出るときには、子どもたちの安全確保のために、スタッフと一緒に見守りをしてくださって、その子たちの動きもよく見てくださって、スタッフに報告してくれます。「さっきまで何人いたのに、先生、1人足りないよ」「今その子帰ったよ」などという、スタッフとの情報交換もしてくれています。

チャレンジタイムにもちゃんと決まった方がいますが、そのほかに、南小の場合はどうしてもシニアですが、見守りながら一緒に遊んでくれる方々が大変多く入ってくださって助かっております。

【委員長】 ありがとうございます。ほかの学校ではどうですか。

【事務局】 並木小あびっ子クラブです。並木小あびっ子クラブも、チャレンジタイムをやっ

るサポーターよりも見守りのサポーターが多くいらっしゃいまして、毎日必ずどなたかしら、曜日を決めて入ってくださっていますので、必ずサポーターさんがいる状態です。こちらも南小と一緒に、シニアの方たちです。スタッフは雑用が入ってしまい、子どもと遊んでいても「ちょっと待ってて」ということがあります、サポーターさんたちはじっくり遊んでくださるのでとても助かっています。

【委員長】 ありがとうございます。

あと、例えば地域交流教室の利用者の方と何か交流を持ったことがあるような例がどこかのあびっ子クラブ等でありますでしょうか。

【事務局】 今のところはないです。

【委員長】 分かりました。ありがとうございます。

【委員】 実は私、今回そういう目的で、一小の地域交流室をお借りしてみました。あくまで地域交流室の利用として。ただ、地域交流室を借りるものの中に、子どもに興味があって、子どものことを一緒に学んでみたいと思うものが借りる権利もあるようなので、借りさせていただいて、交流できる可能性というのを少し探してみたいと思います。何かいいアイデアをサポーターの方からもいただいて、ご説明というか発表できる折があればご報告したいと思います。

そのようにサポーター、見守りの方も活躍なさっているのであれば、この資料の実績にチャレンジしか出ないのはもったいないと感じます。見守りサポーターという方もいらっしゃるということを踏まえて、どこかに欄をつくって、1日いらした数の延べを書いていただければ、「我孫子市は、こういう形で地域間交流も意識している」ということの実績になるのではないのでしょうか。

【委員長】 その辺は今後資料をまとめるときに、見守りサポーターの数などを載せられれば載せていきたいと思います。ありがとうございます。

ほかに何かございますか。今まであびっ子クラブについてのご意見等を伺ってきましたが、学童保育についていかがですか。

放課後子ども総合プラン行動計画を修正させていただいて、学童保育室についても拡張や新たにつくるということができるようにと文言を改正させていただきました。説明にもあったように、策定当時は13校17学童保育室を設置済みですので、以降については、子どもの人口が減少しているということも踏まえ、維持管理を想定していました。しかし共働きのご家庭が増えてきている状況から、学童保育に入室する子どもも、先ほどの入室状況を見て分かるとおおり、増えてきています。定員の見直し等もあり、今年度は第一小学校の学童保育室を新たに拡張することになっています。

特に市の西側地区、我孫子地区、天王台地区が学童保育室に入室するお子さんが増えています。一小、四小、根戸小、高野山小、三小などの学童保育室に入室するお子さんが増えてきているという状況がございます。

高野山小学校学童保育室はいかがですか。

【委員】 やはり、学童保育室に入れるとお金がかかる、面倒な役員をやらなければいけないということがあり、あびっ子クラブができてからは、学童保育室を退室してあびっ子クラブに流れている現状もあるかと思います。児童数を見て、かなり少ない学童保育室などもあるようですが、例えばそういうところが人数が少なくなると、学童保育室の存続が危ういのではないかという話を市連協のほうで聞いたのですが、それ自体がなくなるということはないのでしょうか。

【委員長】 今のところなくすという予定はありません。

【委員】 あびっ子クラブができたことによって、そういった心配をされている保護者の方はいらっし

やいます。ただ、学童保育にずっとお世話になりたいという方もいらっしゃるので、そこはまた切り離して考えていただけたらと思います。

【委員長】 その辺、運営の仕方等も検討していかなければいけないと思いますが、なくすという方向は今のところありません。

ほかに何かございますか。よろしいですか。

(特になし)

5. 各あびっ子クラブの運営報告及び課題検討について

【委員長】 次は、各あびっ子クラブの運営報告及び課題検討についてです。各あびっ子クラブの近況について、最初に湖北小あびっ子クラブからお願いします。

湖北小あびっ子クラブの進捗状況

【委員】 湖北小あびっ子クラブは6月1日にオープン予定で、それに向けて私は4月1日に異動し、湖北小あびっ子クラブにまいりました。4月は半月ほど学童保育にスタッフとして勤務し、一緒に学童の子どもたちとコミュニケーションをとりながら、仕事をしてきました。

その後、昨年あびっ子クラブがオープンした二小あびっ子クラブと高野山小あびっ子クラブで購入した物品の購入リストを参考に購入リストをつくり、買い物に行ってまいりました。

4月は、それと並行しながら、後半はほかのあびっ子クラブに行き、どのようにあびっ子クラブを運営しているのかなどを勉強に行ってまいりました。

5月の連休明けに、あびっ子クラブの登録児童数と名簿が出てきたので、いよいよ本格的にあびっ子の開設に向けて動き始めました。

まず、あびっ子クラブで必要なリストバンドの作成や、マグネットの作成、名簿の作成、掲示物の作成、おもちゃの購入などを行い、先週からは、室内の整備工事が始まりました。電気工事、コンピューターや備品なども設置されましたので、少しずつメインルームらしくなってきたところです。

昨日、湖北小学校の学校の先生に協力していただき、第1回目、3年生を対象に、昼休みと業間休みを利用して、あびっ子クラブ利用の練習を行いました。1年生から3年生までは、参加カードがないと利用できないので、「このカードがすごく大事だ」というお話を子どもたちの前でさせていただきました。「印鑑がないと、せっかく楽しみにしていても利用できないから、必ずおうちの方に印鑑を押してもらい、持ってきてください」という話をしました。その後、昇降口から運動靴に履きかえ、メインルームに来てまず名簿に丸をつけ、リストバンドをつけマグネットを張るという練習をしました。帰るときは反対に、マグネットとリストバンドをもとの場所に戻し、最後に帰る時間を書いて帰るという話をしました。

担任の先生も来てくださり、20分間でしたが大変協力していただけて、3年生2クラス無事に練習を終えることができました。

今日は、学童保育室の子どもたちが、あびっ子クラブ利用の練習に来てくれることになっています。続いて2年生1年生に同じように練習していただきます。練習に来てくれた子どもたちはおもちゃのほうに目が行ってしまう子も多かったのですが、とても楽しみにしてくれたようで、子どもから要望を受けて、新たに何件か申込書を取りに来られた保護者の方もいました。

事前に考えていた子どもたちの動線と、室内にあるもののレイアウトが、実際に子どもたちの動きをみ

ると、物の配置、危険箇所、いろいろな掲示物についても異なることが分かってきました。オープンまでまだ1週間ありますので、スタッフで考えよりよいレイアウトを調整していく予定です。6月1日、晴天になることを願いながら、子どもたち1人でも「楽しかった」と言ってもらえ、安全第一にオープンできるよう、準備をしているところです。

【委員長】 ありがとうございます。

湖北小のあびっ子クラブの登録人数は5月16日現在241人で、登録率としては、全児童数に対して68.3%の登録数となっています。これからまた少しずつ増えてくると思われませんが、多くの子どもたちが登録しています。

登録率を見ていただくと分かりますが、やはり4年生までが多く、5、6年生になると塾や部活など放課後忙しくなるのか、減ってきている状況です。

それでは、続きまして、四小あびっ子クラブの近況をお願いします。

四小あびっ子クラブの進捗状況

【委員】 四小あびっ子クラブは昨年の9月にオープンをして8カ月がたちました。4月は1年生以外の学年の子どもたちでお楽しみ会を行いました。友達に見せたい自分の得意なことの発表を行い、いつもと違う子どもたちの意外な一面が見られ、とても楽しい会になりました。

四小は、154名の1年生のうち、148名があびっ子に登録をしました。全校でも登録人数が多いので、9月から新1年生を迎える不安がたくさんありましたが、上の学年の子どもに力を貸してもらいながら、無事に毎日を終えることができています。

5月はサポーターによる将棋、囲碁やけん玉のチャレンジタイムに1年生も参加することができました。とりあえず何でも分からずに参加をしている1年生ですが、少しずつできることが増えてきたように思います。

学童の子どもたちも毎日おやつ後に遊びに来ているので、学童に戻る4時半の片づけの時間まではとても賑やかです。

23日の運動会振替休日は、午前中学童保育室とあびっ子クラブ合同でアンフィニ主催のサッカー教室に参加し、思いきり体を動かしました。まだまだほかの学校の学童保育室やあびっ子クラブから勉強させていただかなくてはならないところが多々ありますが、子どもたちが安全に楽しく過ごせるように、そして公設民営の四小ならではのできることをスタッフみんなで協力しながらやっていきたいと思えます。

以上です。

【委員長】 ありがとうございます。

公設民営ということで、我孫子市内で唯一、我孫子第四小学校の学童保育室とあびっ子クラブを民間企業に委託して運営しています。これは提案型公共施設民営化制度を使って、企業が手を挙げてくださったもので、庁内で審査をし、よりよい運営ができるということで委託をしました。

メリットとしては、保育時間が延長されています。通常は夜7時までですが、7時半まで延長しています。また、長期休業期間中、夏休み等の利用時にお弁当の手配をしてくれます。また、学童保育室それぞれで父母会会費を集めて、おやつ代等を捻出していますが、その会費の徴収を代行してくれるなど、保護者にとって負担軽減につながっています。

先ほど説明の中に、アンフィニ主催のサッカー教室というものがありましたが、自分たちの会社のスタ

ップ等を活用して、サッカー教室だけでなく、フラワーアレンジメントや英会話教室など、いろいろなことを実施している状況です。

ありがとうございました。それでは、次に湖北台西小あびっ子クラブの近況についてお願いします。

湖北台西小あびっ子クラブの進捗状況

【事務局】 私はこれまで学童保育室に勤務してまして、湖北台西小あびっ子クラブに今年から異動しました。今、実際勤務してみて、自分で想像していたあびっ子クラブとは違い、学童保育室と大きく変わらないのではないかと思います。あびっ子クラブは全児童対象ですが、毎日通ってくる子どもたちは決まってくるので、顔が分かってきます。私は、子どもの名前や顔、保護者の方の名前を覚えるのがとても苦手なのですが、あびっ子クラブでは、そんなに覚える必要はないと思っていましたが、毎日同じ顔ぶれの子どもたちが来て、自然に覚えるようになりました。

けん玉のチャレンジのときに必ず来る6年生の男の子がいます。けん玉の先生を、本当にお兄さんのように慕っていて、けん玉の認定に松戸にまで一緒に行って、1級等の資格を取ってきたと言ってうれしそうに話してくれました。

私が異動して初めて湖北台西小あびっ子クラブに行ったときには、部屋の中にこいのぼりが作ってあり、3月のころから東小と西小の子どもたちに作ってもらっているものだと聞きました。5月の連休のときに中央公園に飾るために、ここ何年か継続して実施していて、子どもたちが放課後、こいのぼりを作ってくれました。子どもの発想というのはすばらしく、絵の具や色鉛筆、クレヨンを使い、鱗を制作しました。中には折り紙をハート型に切って、両面に張り、とてもすてきなものができました。私も5月の最終日に見に行かせていただきました。ここ何年もずっとこいのぼり作りを行っていたということを私は知らずにいて、申し訳なかったと思うぐらい立派なこいのぼりがとてもすてきに飾ってありました。写真を撮ってきましたので、ぜひ見てください。そのときに雨風の強い日があり、素材が紙なのできつとぼろぼろになってしまっていると思いましたが、皆さんでそれを取り込んで、また再び飾ってくださったというお話を聞いて、とてもびっくりして感謝しております。こいのぼりについては、湖北地区社協の方々をはじめ、地元の方々に大変お世話になりました。子どもたちにとってもとても貴重な体験ができたと思います。本当にありがとうございます。これからもサポーターの方たちは毎日来てくださったらいいと感じています。私たちは雑用があり、子どもたちと遊んでいてもちょっと手をとめて立たなくてはならないことがありますが、サポーターの方がいてくださると、本当にじっくり関わってくださるので、子どもたちは、とても過ごしやすい、いいところだと改めて感じました。ありがとうございます。

【委員長】 ありがとうございます。

今、3カ所のあびっ子クラブの現況についてご報告いただきました。このことについて、このこと以外でも結構ですので、何かご意見等ございますでしょうか。

【委員】 私も昨年度までは、子どもの数などを予測するなどの仕事をしていて、実際に学校長として湖北台東小に行き、地域の方やあびっ子クラブ、学童保育室の先生方に、とても子どもたちがお世話になっていることを、私自身も実感しているところです。今、まだ学校としてどういう関わりをすればいいのかという面に関しては、今後少しずつ自分なりに考えていきたいと思ったところです。

湖北台東小学校は、地域に守られていて、地域の目でどんどん成長する学校だと感じています。

【委員長】 ありがとうございます。

P T Aからは、いかがですか。

【委員】 私自身は、もう上の子が今中学校2年生で、下は4年生ですが、上の子が低学年のころ、まだあびっ子クラブが我孫子市に無く、一小に次に根戸小にと、1年に1つずつできていくところで、早く東小に来ないかなと心待ちにしていました。今も周りのP T Aだけでなく、東小のお母さんたちから、「今日はこちらの子あびっ子クラブに行っている」、「夏休みもあびっ子クラブを楽しみにしている」という話を聞きます。チャレンジタイムで囲碁やお習字の日というカレンダーが配られるので、子どもたちも、必ずこの日は行く決めていて、とても楽しみに通っています。それが各学校に広まって、1年に二、三校とどんどん増え、我孫子市全部にもうすぐできるというので、子どもたちはとても恵まれていると思います。学校から一旦家に帰らなくても、そのままあびっ子クラブに行けますし、公園などももちろんいいですが、保護者も、子どもたちがお友達同士で学校の敷地内や校庭など、大人の目のある場所で、安心して遊べるというのは、本当にありがたいと考えております。

【委員長】 ありがとうございます。

まだ布佐小にはあびっ子クラブがないという状況ですが、布佐小のP T A会長さん、いかがですか。

【委員】 布佐小はまだこれからなので、皆さんのご意見をいろいろ頂戴したいと思います。

【委員長】 ありがとうございます。いかがでしょう。

【委員】 前にもお話はさせていただいたのですが、青少年相談員のメンバー構成が、昔と今とは違っておりまして、今はどちらかというと、サラリーマンの方が非常に多く、放課後という側面でご協力ができるのがなかなか難しい状況になってきています。本来であれば青少年相談員の人間が放課後にお邪魔してという形ができれば一番いいと思いますが、なかなかメンバー構成上、それが難しくなっています。

その中で青少年相談員として、放課後の特にあびっ子クラブに対して何かご協力ができることがあるのかと考えたときに、青少年相談員が持っているいろいろな備品があるのですが、この備品は、年に数回しか使わないものもあれば、その年使わないものもあつたりします。これは役員会等を通じて話を出してみないと分からないところですが、そういう備品の貸し出しのような形でご協力できればと感じております。

特に、それぞれの支部でいろいろな備品を購入しており、例えば我孫子支部であれば、通常ではあまりないような大きいドッチビーの玉があります。根戸小でイベントを行ったときは、子どもたちがそういうものを見るのも初めてというのもあり、取り合いになるぐらいでした。それぞれの支部でいろいろな備品があるので、それをうまくあびっ子クラブに利用していただけるような、その方策が団体として可能であればいいというのは今日感じましたので、私を通じて役員会にそういうような形で協力できないだろうかということで上程をさせていただければと思っております。

以上です。

【委員長】 ありがとうございます。

委員が所属している青少年相談員ですが、大きな事業としては夏の青少年キャンプがあり、募集をしているところです。小学校4年生から6年生の子どもたちを対象に、五本松公園の隣のキャンプ場で、7月30、31日に1泊で実施する予定です。

また、11月に行っている、市内の小学校を対象とした綱引き大会があります。それは、相談員は各小学校区に大体5人前後いますので、その人たちがそれぞれの小学校に行って綱引きの仕方を子どもたちに

教えて、その子どもたちが900人以上市民体育館に集まり、ものすごい熱気の中、綱引き大会を行う事業を行っています。そのほかにもそれぞれ地域に密着した活動をしてくださっています。

青少年相談員の事務局を子ども支援課で行っていますので、連携していけると考えます。ありがとうございました。

それでは、何かございますでしょうか。

【委員】 私は、民生委員をしています。湖北台西小でサポーター登録もさせていただいています。月に1、2回しか活動できていませんが、また、子どもたちと一緒に遊びたいと思います。時々会うと、「あ、あびっ子の先生」なんて言われて、先生なんておこがましいから、「名前がいいよ」なんて話すのですが、みんなかわいい子どもたちで、とても楽しませていただいております。

【委員長】 ありがとうございます。

指導課長補佐いかがですか。

【委員】 子どもの健全な育成のためには、やはり人、というのは今回お話を聞いてとても頼もしく感じました。

初歩的なことで大変申し訳ないのですが、単純に本当に教えていただきたいことがあって、学童保育とあびっ子クラブ、一体的に実施していると聞きました。最大のメリットというのは何でしょうか。

【委員長】 一体的な運営というやり方をしていますが、学童保育室にいる子はあびっ子クラブを自由に使い、スタッフが一緒に密に打ち合わせをしていますので、チャレンジタイムなどになるべく学童の子どもが出やすいように調整できるというところです。あびっ子クラブの子どもたちは当然、学童保育室には行けませんので、そこはしっかりと線引きをし、学童保育はきちんと保育をし、さらにあびっ子クラブもうまく使えるように連携を図っています。

【委員】 乗り入れが可能になり、さまざまな体験ができ、みんなで支えられるということですか。

【委員長】 そうです。

【委員】 ありがとうございます。

【委員長】 他にいかがでしょうか。

【委員】 私は生涯学習課で、どういう立場でここに参加するのかと思って来ましたが、今日このあびっ子クラブの資料を見させていただいて、例えば根戸小は、このチャレンジタイムが全部で30種類もあり、これまでの学校教育では補えないようないろいろなことを、地域の中で世代間交流もしながら学べる場として、非常にすばらしいことをやっていると感じます。こういったものを見たのは初めてで、現場にも行ったこともなかったのですが、非常にいいことだと思いました。

まだ遠い先のことですが、こういった経験をした子どもたちが大人になって、地域に帰ってきたときに、今度は教える立場というか、サポーターになることにもつながっていくようなことにも期待したいなと思っています。

【委員長】 ありがとうございます。いかがでしょうか。

【委員】 2つほどあります。1つは、先ほどの青少年指導員の備品について、名前を聞いても分からないので、ぜひ写真入りで貸し出しが可能と、表のようなもので見ることができたらいいと思いました。

それから、なかなか学校やあびっ子クラブに顔出しができないのですが、あびっ子クラブから子ども達にここにこしてやって来て、「今日はこれを作った」「今日こういう遊びをした」という情報を入れてくれるので、様子がとてもよく分かります。

子どもたちに、「あびっ子クラブのいいところはどこ？」と聞いたところ、ちゃんと子どもたちは心得ていて、学校から帰る時に遊ぶ約束をして、一度家へ帰ってから学校近くの公園に集まるという、行ったり来たりで遊ぶ時間がないけれど、あびっ子クラブは、学校からそのまま遊びに行くことができる。また、「勉強の後のほっとした時間だよ」などと生意気なことを言うお子さんもいました。でも、それだけあびっ子クラブのありがたさを分かっているのだと感じております。

【委員長】 ありがとうございます。ほかに何かご意見等ございますでしょうか。

【委員】 度々すみませんが、今の青少年相談員さんからの、物の貸し出しのお話を伺って、すごくいいなと思いました。世代間や学童とあびっ子クラブなど、いろいろな地域が参加するということの乗り入れが、例えばコーディネーターの先生方のご負担にばかりなってしまうのはすごく不安です。乗り入れをやらなくなったときに、どこで集約し、情報提供をどうするのかというところまで考えないと、ご負担ばかり増してしまうのはすごく嫌だなと思ひ、ぜひ、数回しかない会議でしょうが、そういう話題を覚えておいて、次回、ではどういふことができるだろうかと、考えていくというのもいいかなと思ひました。

【委員長】 ありがとうございます。会議録等は後日送らせていただくこととなりますので、読み直していただき、その中で今後どうしたらいいのかということを考えていただいて、次回にご意見をいただければと思います。ありがとうございます。

6. その他

【委員長】 次回以降の日程についてです。10月の初旬頃を予定しております。また、既に予定等入っていて、都合の悪い日が10月初旬ごろにある方は、事務局へお伝えください。

これで第1回の放課後対策事業運営委員会を終了させていただきます。どうもありがとうございました。